

こどもたちの元気を地域の活力に ～地域の願いとこどもたちのねらいとの接点探し～

発表者

仙台市立原町小学校

教頭

遠藤 勝彦



創立152年目

- ・ 明治6年創立の本校は、令和7年度で創立152年目を迎えた。

校木「柿の木」

- ・ 平成9年6月まで、校庭の中央に樹齢120年を越す校木「柿の木」の勇姿が子供たちの成長を見守っていたが、台風で倒木した。現在は後継木の若木を育てている。現在も「柿の木児童会」「柿の木図書館」「柿の木児童合唱団」「柿の木バンド」「柿の木応援団」などの名と共に親しんでおり、在校生、卒業生、地区住民の心の支えとなっている。



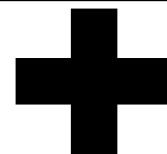


- ・ 柿の木応援団は、地域と原町小学校が一緒になって原町を盛り上げようという応援団
- ・ カキノキマンの旗は、柿の木応援団のシンボルマークであり商標登録もされている。



柿の木応援団

「学校支援地域本部（地域学校協働本部）」など学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみでこどもを育てる体制をつくり、信頼される学校づくりとともに魅力ある地域コミュニティの構築に寄与する、という考えに基づいた地域連携体



地元学の会

地元学推進委員を中心とする地元学講師を招いた総合の授業
町内会長、原町本通商工会親睦会会長、平田神社総代会総代表
各種商店会代表取締役、市民センター職員

- ・ 仙台市「地元学」発祥の地である宮城野区において、「子供の頃から地域の人や歴史への興味を喚起することで、区民一人一人が地域に愛着と誇りを持って地域のアイデンティティづくりにつなげる」ことを目的に宮城野区区民部まちづくり推進課との【原町小学校区地元学地域連携事業】として平成21年にスタート

- ・ 平成21年度 6年生総合的な学習の時間 原町歴史探検隊⇒歴史マップを作成
3年生総合的な学習の時間 発見！原町⇒地域の中の珍しいもののマップを作成

ねらい 自分たちの住む町の課題を見付け、課題解決のために自分たちができることを計画・実践する活動を通して、**自らが地域の一員であり、未来を築いていく社会の一人であることについて考えを深め**させる。

「総合的な学習の時間」年間指導計画（6年） 10月～4月

仙台市立原町小学校

月	単 元 名	時数	主 な 活 動 内 容	評価等
10 ～ 2	描こう、原町の未来～原町もり上げ隊～ <20>	8	○イメージマップを作り、自分の今までの情報の整理を行う。 6年間の原町地域との関わりを振り返りながら、街を盛り上げる自分なりの方法を考え、まとめる。	○ <u>学びに向かう力</u> *地域とのつながりに学びに向かう力を持つことができる。
		2	○地域の方を招いて、計画発表会を行い、話し合いや意見交換を行う。 第3回学校運営協議会 ～計画発表会～	○ <u>思考力・判断力・表現力等</u> *自分たちの課題解決に向けて、調査活動を行うことができる。
		10	○原町を盛り上げるための具体的な計画を立て、実践する。 第4回学校運営協議会 ～地域と子どもたちとの熟議～	○ <u>思考力・判断力・表現力等</u> *自分たちの課題解決に向けて、活動を行うことができる。
3 ～ 4	情報を発信しよう <6>	4	○「原町盛り上げ隊」で、まとめたことをPCを使って、発信できるようにする。 ○クロームブックを活用して、まとめを作る。 ○プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼン・パンフレット作りを行う。	○ <u>学びに向かう力</u> *課題を見付け出すことができる。 ○ <u>思考力・判断力・表現力等</u> *自分たちの課題解決に向けて、調査活動を行うことができる。
		2	○情報モラルの学習を行う。	○ <u>学びに向かう力</u> *ふだんから自分たちの周りのことへ学びに向かう力を持つことができる。

計画発表会



6つのグループが各教室に分かれて、商店街の方々へ発表



学校運営協議委員

宮城野区中央市民センター長

柿の木応援団長

東部商店会会長

原町小学校PTA会長

原町小学校同窓会長

原町児童館長

原町地区主任児童委員

本通商工親睦会長

原町小学校PTA副会長

ねらい こどもたちの地域への思いに刺激される地域の大人が、こどもたちと一緒に町の活性化に取り組む。



地域清掃



歴史探索ツアー



保育園との交流会



地域のお年寄りとの交流会



安全マップ（PTAとの関わり）

安全マップ

一土和或の安全を守ることを目的とした、安全マップを作りました。みなさん見てみて下さい。

地図の中のこのマークは、
子ども ぼん いえみせ
子供110番の家・店だよ！

きけんなばしよ
しょうかせん
消火栓のばしよ

原町

～「安全」のひとに「つてほしい」こと～
 ▲横断歩道の白線ふみゲームをしない！
 ▲手をあげてわたる！
 ▲事故や事件があつたら大人のひとをたよる！
 ☆110番の家に行く！
 ▲車通りが多い所には行かない！

さかした
坂下こうさてん

車がたくさんとおるからこうつうじが多いよ！じてんしゃやうつうろをあるいてわたらず、ほどうきょうをつかおう！

くやくしよまえ どうろ
区役所前の道路

ちかくにちゅうしゃじょうがあるから、車が大きいどうろから、ほどうに入ってくるよ！じどうかんに行くときはきをつけよう！

ももたろうかんぱん まえ
桃太郎看板の前

車がきゅうにカーブしてくるし、おうだんどうがながーいから気をつけて！
ちゃんとまわりを見よう。

くるまやラーメンの前

ちゃんとしんごうをわたらう！
車がよくとおるから、ほかのところからどうろをわたらないでね。

スーパービッグの駐車場

めいわくになっていもうからビックであそばないようにしよう。車が出てこないか左右をかくにんしよう。

ツルハドラッグ

道がせまいから、左右をかくにんしてすもう。

ファミリーマートの前

くらい道だから、よるにおでかけするときは、おうちのひと いっしょにいこう。

宮城野消防署前の歩道橋

おやぎのしょうぼうしんまえ、ほどうきょう
45ごう線をわたるときは、かならずほどうきょうを使ってね！
ほどうきょうの上ではあそばないでね！

宮城野消防署前

45ごう線をわたるときは、かならずほどうきょうを使ってね！
ほどうきょうの上ではあそばないでね！

道がせまいから、
じてんしゃに気をつけて！

う！
★ルールをまもって、あんげんにたのしいがっこうせいかつにしよう。
6年生より

お家の人のれんらく先を書いておこう！

つのにわ
梅田川があふれることがあります。ちかやらないようにしましよ！

ましよ！

しょう。
よう。
いのそば
たてもの
の
乗っていろ
しています。
ひけ
と火を消
かじ
どこで、火事
まち
す。町のな
う200m
しょうかせん
消火栓の
いようにし

商品開発（商店街との関わり）



【主任児童委員】 交流したいとの視点がうれしい 大人にはない発想
お互いに高め合える

【児童館長】 声に出して思いを出せる
大人の手がないと小さい子と関われない
公共の場できっかけを 町が好きなんだと感じた

【市民センター長】 成長に驚いた 歴史はアプローチが難しい
掘り下げた後どうするか 可能性が広がる

【柿の木応援団長】 歴史を知って愛着を持つ 絞った方が良い
ゴミ問題は毎年扱うべき継続すべき活動

【同窓会長】 以前は、小学校が保幼をつれて避難訓練をしていた
交流を復活させたい

【PTA会長】 こどもが感じているんだな
こどもと活動を進めていきたい

【商工親睦会長】

大人の目線との違い、「良い町なんだよ」とのこどもの声

【主任児童委員】

意外な視点 好意的な反応で驚いた

【児童館長】

優しい子が多い 意外に冷静に見ている

【PTA会長】

元気で明るい子が多い 「原町」という地域をイメージしやすい
地域柄がこどもを育てる 自分たちが気に掛けてもらっている

【市民センター長】

地域をよく見ている あいさつ⇒優しさ⇒地域への愛着

【商工会長】

自分の考えを持っている
地域の人（のあいさつや見守り）へ感謝の気持ちを持っている

【柿の木応援団長】

発表を聞いてからの熟議で、双方向のやり取りができた

大人にはない
発想をこども
が持っている

こどもたちが
町のことを想
っていているのが嬉しい

町にはたくさんの
歴史がある

駐車場が多い
町に元気がない
さびしい

地域の願い

- ・ こどもたちが地域へ愛着をもってほしい
- ・ コロナ禍でなくなったものを復活させたい
- ・ 商店街を活性化させたい

地域をよく見
ている

こどもと大人
とでお互いに
高め合える

こどもと活動
を進めてい
きたい

より良い地域へ

こどもたちのねらい

- ・ 商店街を盛り上げる
- ・ 町の防犯、安全意識を高める
- ・ 高齢者の心身の健康
- ・ 公園の景観
- ・ 原町の歴史

町の高齢化
が進んでいる

町の人の安全
意識が下がっ
てきている

大人が子どもを手伝うだけでなく、
子どもの思いに刺激された大人も一緒になつて、
町の活性化へ取り組む

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
宮城県仙台市	509名	令和4年度	12名	4回	3名

学校教育目標

勇気と知恵と汗を出し、仲間と共に、なりたい自分に向かって努力し続けるこどもの育成

学校・地域の特徴

かつて校庭の真ん中にあった柿の木（校木）から名前を取った地域ボランティア「柿の木応援団」が子どもたちの学びを様々な場面でサポートしている。

学校の正面に通る原町本通は、商店街となっている。4月には、原町本通において「春祭りパレード」が行われ、本校の「柿の木バンド」や職員が参加する。10月には、学校の体育館や校庭において「オータムフェスティバル」が行われ、「柿の木合唱団・バンド」の出演やJAによる餅まき、各種団体による出店などにより、地域交流を深めている。

学校運営協議会の概要

委員の構成

宮城野区中央市民センター長
柿の木応援団長
東部商店会会長
原町小学校PTA会長
原町小学校同窓会長
原町児童館長
原町地区主任児童委員
本通商工親睦会長
原町小学校PTA副会長

これまでの主な議題例

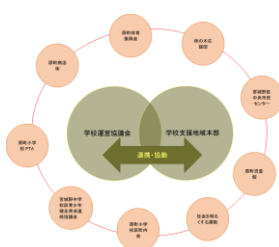
職員との熟議

・協働型学校評価重点目標
「コミュニケーションの基盤となる挨拶をしっかりと行えること
もたちを育てる」について

子どもたちとの熟議

・地域盛り上げ隊の活動に取り組み始めて、感じていること
・地域に思うこと

組織図



学校運営協議会 ← 連携・協働 ⇒ 学校支援地域本部
(地域学校協働本部)

柿の木応援団	宮城野区中央市民センター
原町児童館	社会を明るくする運動
原町小学校区町内会	原町体育振興会
原町小学校PTA	原町商店街
宮城野中学校区青少年健全育成連絡協議会 など	

地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

小学校6年間を通して様々な地域の方々と関わり、学びを深めている。

- ・たくさんの生活・学習サポーターの支援により、安心した学校生活をスタートできる1年生「スタートカリキュラム」
- ・宮城野区中央市民センターの協力により、すずむしの飼育を通じた自然の保持・継承の大切さを学ぶ2年生「すずむしの里学習」
- ・地域に詳しい柿の木応援団を講師に迎え、原町を学ぶ3年生の地域学習「原町～今・むかし～」
- ・商店街の花壇への花植えをきっかけに環境について考える「リサイクルで原町を明るく」
- ・宮城野消防署に協力いただき防火について考える5年生「柿の木消防クラブ～BFC活動～」
- ・原町の振興のために地域の人と一緒に町の未来を考える6年生「原町もり上げ隊」